HM-901/HM-802 Owner's Guide

日本語取扱説明書

HiFiMAN製品正規輸入代理店
有限会社トップウイング

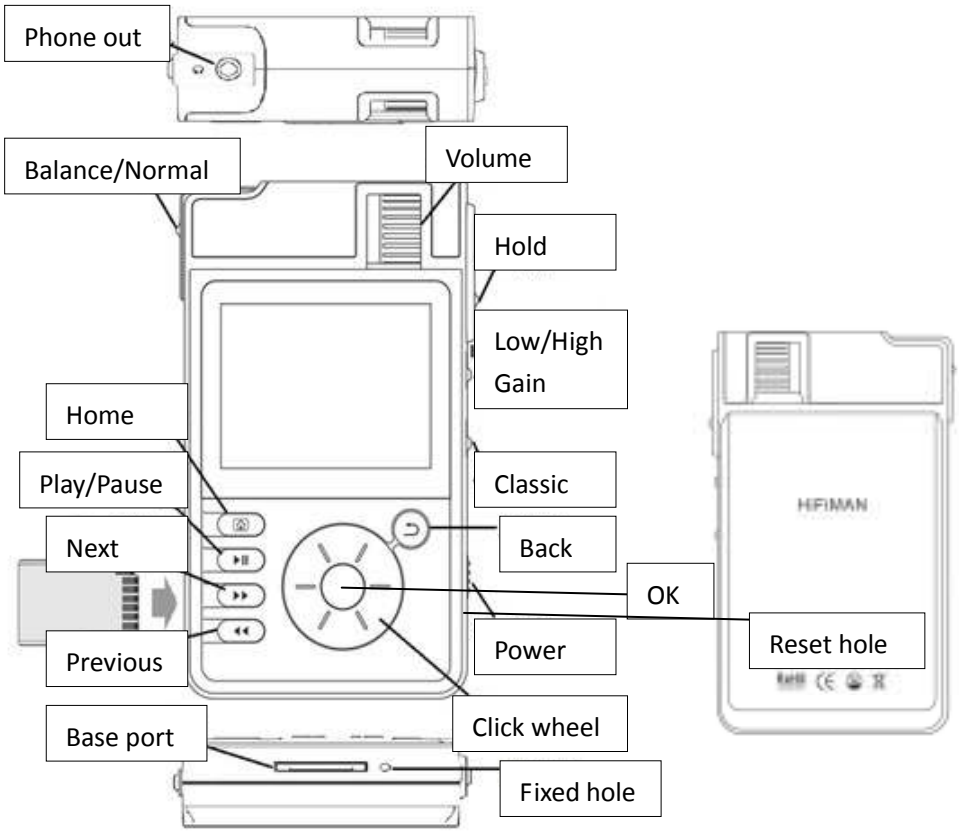
www.twctokyo.co.jp

All Rights Reserved by HiFiMAN®

1. HM-901/HM-802 Basics

本取扱説明書は HiFiMAN HM-901 と HM-802 の共通の取扱説明書となります

Function Buttons



Power ON/OFF（電源のオン/オフ）
電源スイッチを２～３秒上方に押し上げると電源がonになります。
電源を投入してからメインメニュー画面が表示されるまで30～４０秒ほどかかります。
電源がonのときに電源スイッチを２～３秒押し上げると電源offの選択画面になります。
※　起動しない場合はリセットボタンを押すか、バッテリーを外して再装着してください。.

Wheel（クリックホイール）
メインメニュー画面が表示されてからこのクリックホイールを回し、目的のアイコンが拡大表示されるまでメニュー間を移動してください。人差し指と中指で操作すると楽です。

Central button（セントラル・ボタン ＝ OK ボタン）
目的のアイコンが拡大表示されたらこのセントラル・ボタンを押します。このボタンはパソコンの Enter ボタンと同じ働き（命令実行）をします。（以降 OK ボタンと表記します）.

Back（バックボタン）
このボタンを押すと一つ上の階層のメニューに移動します。.

HOME（ホームボタン）
このボタンを押すとどのような階層のメニューからでも一番上の階層（メニュー）に戻せます。

Play / Pause （プレイ/ポーズボタン）
音楽再生中にこのボタンを押すと一時停止します。一時停止中に押すと再生を再開します。
スタート時に曲間のポップ音を緩和するためごく短時間のミュート（消音）をかけていますので曲の始まりがわずかながら欠落するかポップ音が残ります。（やむを得ない設定・仕様です）

NEXT（次曲ボタン）
このボタンを押すことで次の曲の再生に移行します。（※若干ポップ音が出ますが異常ではありません）.

PREVIOUS（前局ボタン）
このボタンを押すと前の曲の再生に移行します。. （※若干ポップ音が出ますが異常ではありません）.

Low / High Gain（高/低ゲイン）
出力レベルの高低を選択します。通常ヘッドホンは高、イヤホンは低ゲインで使用します。.

HD / Classic （ローパス・フィルターの特性の切り替え）
通常は **HD** ポジションでお使いください。古い録音で **Vintage** が効果的なことがあります。

Balance / Normal（バランス/ノーマル接続）
“Normal” 側は通常の３極（端子）のヘッドホン、イヤホンで使用します。
“Balance”.側は HiFiMAN の４極（端子）のバランス型ヘッドホン、イヤホンで使用します。

Volume（音量）
突然大音量で再生されることがないよう使用開始時はボリュームの位置を 0 にして、徐々に適正な音量になるよう調節ください。

HOLD（ホールド）
このノブを“HOLD”側にするとボリューム以外の操作ボタンは無効（ロック状態）になります。
““HOLD” 状態で操作命令を実行すると画面に警告のイラストと警告文が表示されます。

Accessories（付属品） ※ HM-901 はロットによって付属品に違いがあります

1. USB Data in/out cable (このケーブルではUSB DACとして使うことはできません)
2. RCA Plug Digital in / out cable （一部のHM-901にのみ付属します）
3. RCA Plug Digital in / RCA Plug Stereo Line out cable（DACとして使用できます）
4. 3.5mm Plug Stereo Line out cable, （一部のHM-901にのみ付属します）
5. HM-901用専用充電器（PSE=電気安全法適合品）
6. HM-901用専用内蔵リチウムイオンバッテリー（+7.4V 1600 mAh, -7.4V 520mAh)

※ **2,**が付属する HM-901 は 3,が付属しません
※ **3,**が付属する HM-901 は 2,と 4,が付属しません
※ 上記ケーブルはすべて別売りしております

HM-901/HM-802 の使用方法

SD Card の装着

HM-901/HM-802 は起動時に毎回装着されている SD カードを読み込みますが、再生できない規格の音楽ファイルや破損ファイルが１つでも存在していると読み込みを何度でも繰り返してしまいます。その際はそのカードの使用を中止し、中の音楽ファイルを点検ください。

＊ SDXC カードのフォーマット形式は FAT/FAT32/exFAT/NTFS すべてがご使用できます。
＊ ファームウェアの更新はFAT32でフォーマットされたSDカードで行うことが必須条件です。（容量の小さい SDHC カードを更新用にご用意いただくことをお薦めします）
装着した SDXC カードが認識されない場合は PC のカードスロットや別のカードライターをご利用ください。（ウィルス対策ソフトの影響で認識できないことがあります）

Power ON/OFF（電源のオン/オフ）

本体右側面にある電源スイッチを2～３秒押し上げると電源が入り、HiFiMAN のロゴがディスプレイに表示され、それから３０～４０秒でメニュー画面が表示されます。
電源を切る場合は再度電源スイッチを2～３秒押し上げて、「電源を切る=Yes」、「キャンセル_No」という画面からホイールを使って目的の画面を選択し中央のOKボタンを押します。
※ 起動しない場合はリセットボタンを押すか、一度バッテリーを外して再装着してください。

Sleep

メニュー画面で電源ボタンを素早く上に押し上げると画面が消え、スリープ状態になります。
この状態でOKボタンを押すとすぐにご使用できる状態に復帰します。

Reset（リセット）

ディスプレイがフリーズした（動かなくなった）り、電源が入らなくなった場合はリセットボタン穴に細い棒状のもの（ゼムクリップなど）を差し込んで内部のリセットスイッチを押し、HM-901/HM-802 を強制リセット（正しく押した場合は電源が切れます）します。
フリーズは HM-901/HM-802 の内部 CPU に能力以上の負荷がかかった（早送りの多用などの）際に起こることがありますがリセット後に正常に動作すれば故障ではありません。

.Charging（充電）※ 充電器の緑色のランプは点灯しなくても故障ではありません。

HM-901/HM-802の内蔵バッテリーの駆動可能時間は通常８～９時間です。
充電を促す警告が表示された場合は速やかに専用充電器を接続し、充電を行ってください。
バッテリー保護のため急速充電を行いませんので満充電まで７～８時間を要します。
最初の４時間ほどは充電器が熱を持ちます(発熱がご心配の場合は充電器の印刷面を上にして置いてください)がその後は弱電流による緩充電に切り替わり、満充電時は自動的に充電器を遮断しバッテリーを保護します。

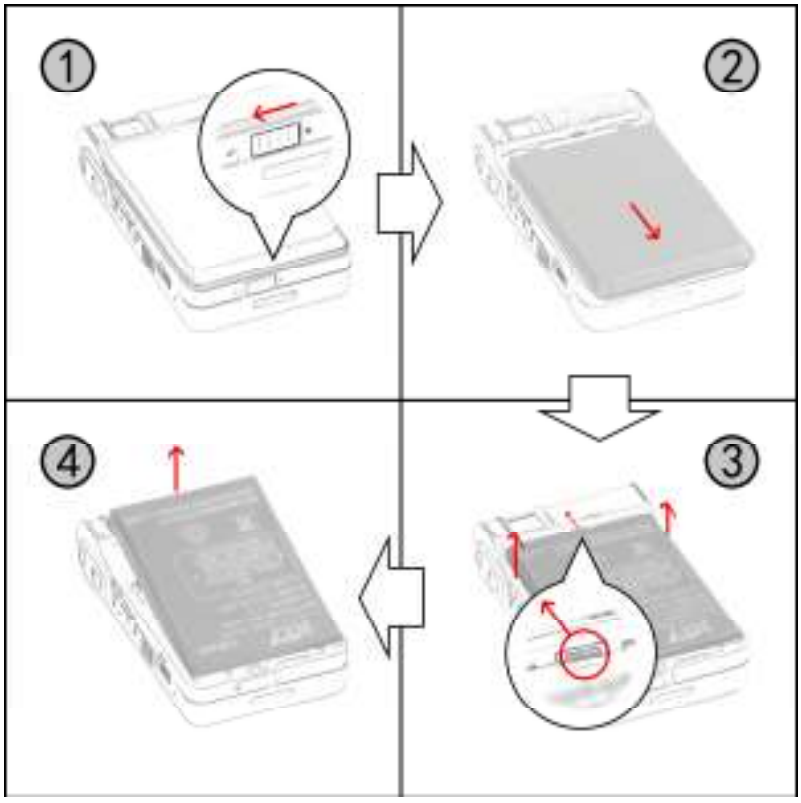
※ 充電中に音楽再生、SLEEP機能などを使用するとバッテリーは充電されず放電しますのでAC電源で使用する場合はバッテリーを外してご使用ください。

Replacing the battery（バッテリーの交換方法）

バッテリーの取り外し

① ロックノブを閉（赤色側）から開（青色側）にし、ロック状態を解除します。
② 裏ぶたをスライドさせます。
③ バッテリー上部をロックしているHM-901側のツメを図のように上方に押し上げます。（人差し指を隙間に差し込んで爪で押し上げると簡単です）
④ バッテリー上部を引き上げます。

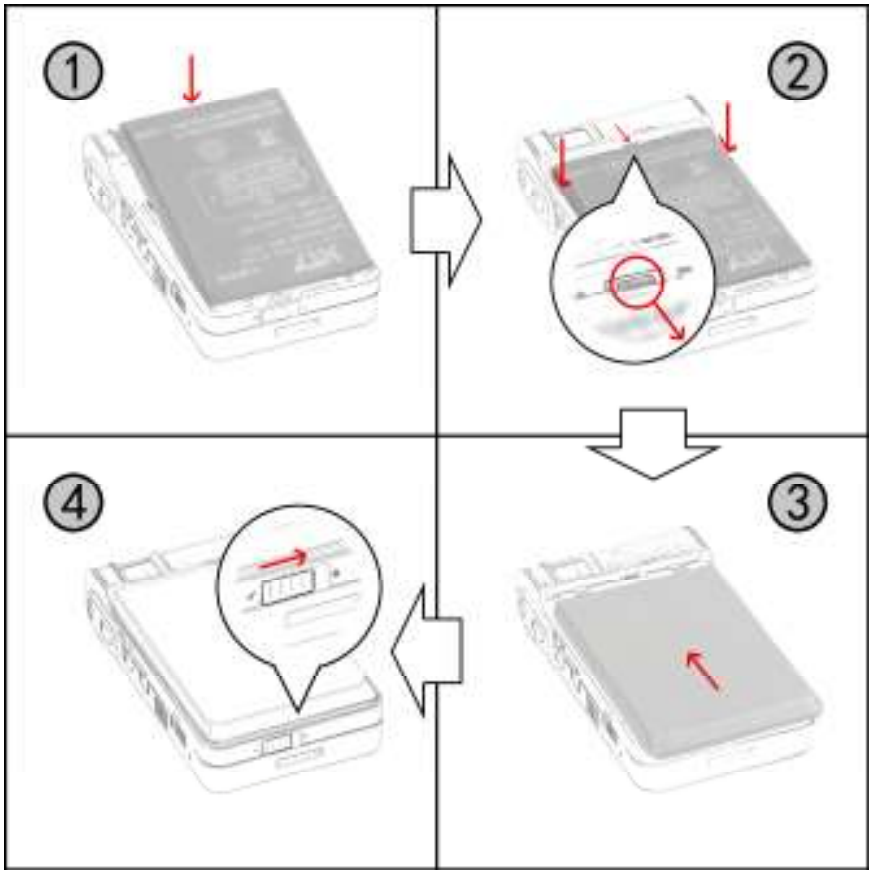
※ バッテリーは金属のマウンター で保護されております。
固くて外れない場合は④の赤↑部分でしたらマイナスドライバーを差し込んでもダメージを与えることはありません。



バッテリーの装着

① バッテリーの下側をまずHM-901/HM-802に装着します。
② バッテリーの上部を中央の突起でロックします。
③ 裏ぶたをスライドさせます。
④ ロックノブを開（青色側）から閉（赤色側）にスライドし、ロックします。

:

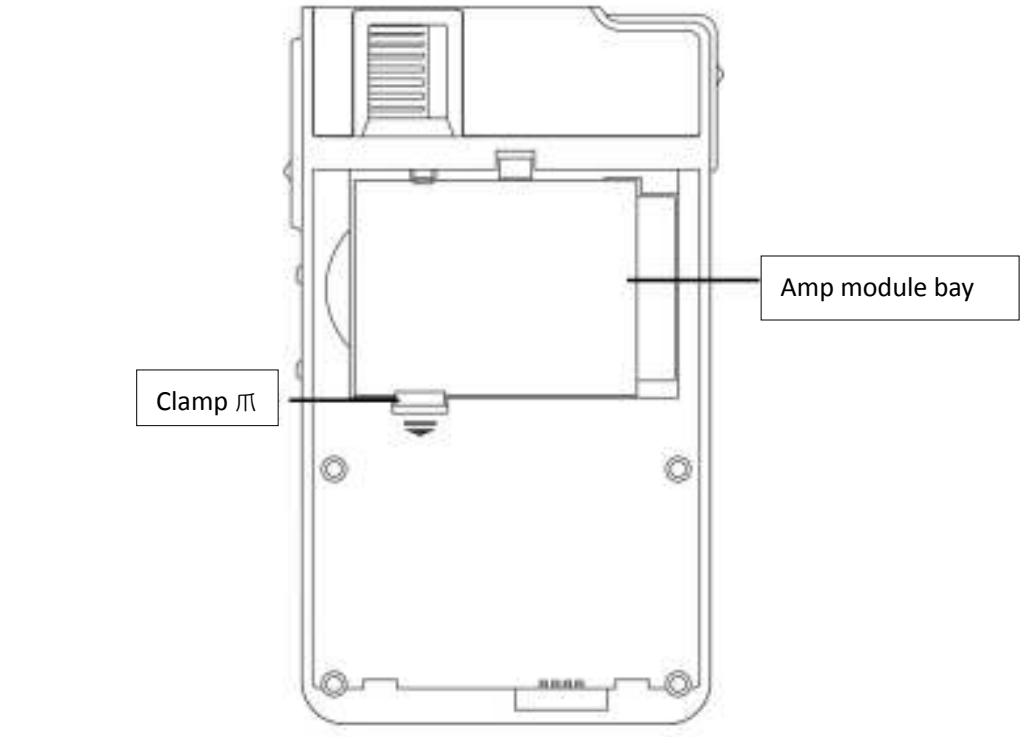


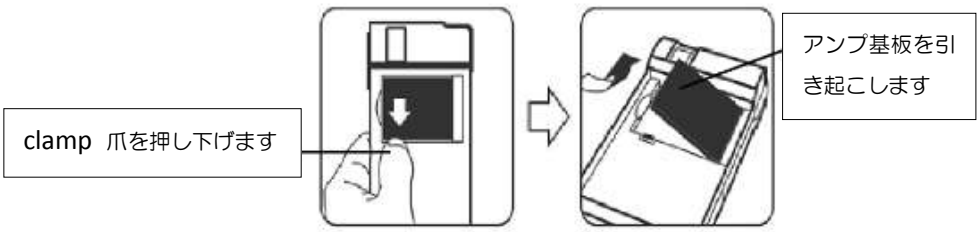
バッテリーでの動作時間が極端に短くなったら寿命です。
新しいバッテリーをご購入いただき上記の説明にしたがって交換ください。

Replacing amp module（アンプカード＝アンプモジュールの交換）

下記の説明に従ってアンプモジュールの交換を行ってください。
HM-901/HM-802は発売中のアンプモジュール（すべて別売り）が使用できます。

:

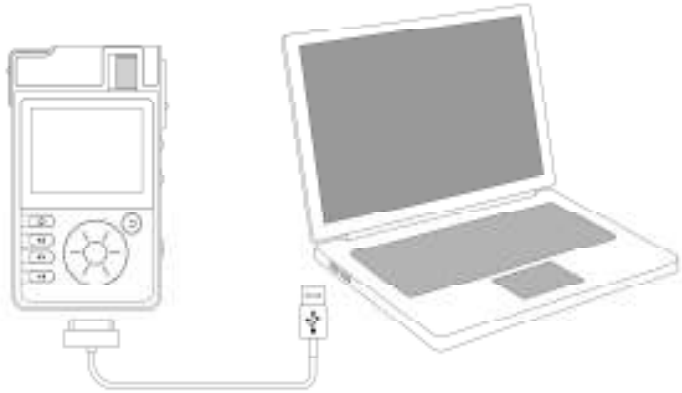




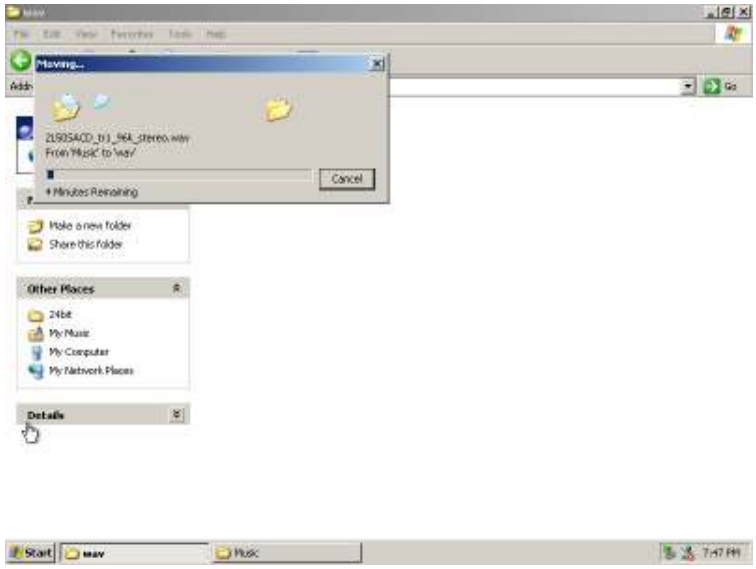
アンプモジュールの装着場所はバッテリーの下部にあります。
アンプモジュールの交換はバッテリーを取り外した状態で行います。.
取り外し時は大きな力が必要ではありません。アンプカード（アンプ基板）が外れないときはclamp爪が基板から外れているか確認してください。
clamp爪があまくなり頻繁にアンプ基板が浮き上がる場合はclamp爪を上方に押し上げると確実にロックされるようになります。
clamp爪の反対側にあるロック爪を押し開いても基板のロックは外れます。

Connecting（接続について）

HM-901/HM-802 とパソコンとの接続



1. HM-901/HM-802とパソコン間を付属のUSBケーブルで接続します。.
2. パソコンがHM-901/HM-802をUSB機器として認識するまで待ちます。.
3. ＳＤカード上にパソコンにある音楽データをコピー(ドラッグ＆コピー)します。.



1. 大切な音楽データを守るためデータの転送中にケーブルを取り外したりパソコンの電源を切ったりしないようご注意ください。
2. データの転送（コピー）スピードはご使用になるPCやSDカードの性能に比例します。

※ ウィルス対策ソフトでHM-901/HM-802に装着したメモリーカードを（外部ストレージとして）監視する設定にしているとカードが認識されなくなることがあります。

Disconnecting HM-901/HM-802 from PC（パソコンから取り外す方法）

1. HM-901/HM-802とパソコンの接続を解除するときはパソコンの「USB機器を安全に取り外す」操作を行ってからUSBケーブルを抜いてください。
2. ＳＤカードにデータ転送中は関連機器の電源を切らないでください。.
3. 音楽データ転送中に上記の注意を怠ると大切な音楽ファイルにダメージを与えることがあります。

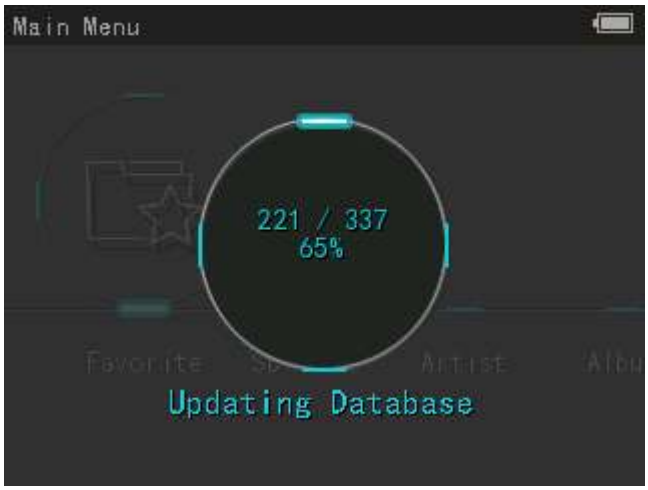
2 Operations（操作方法）

Main menu（メインメニュー）

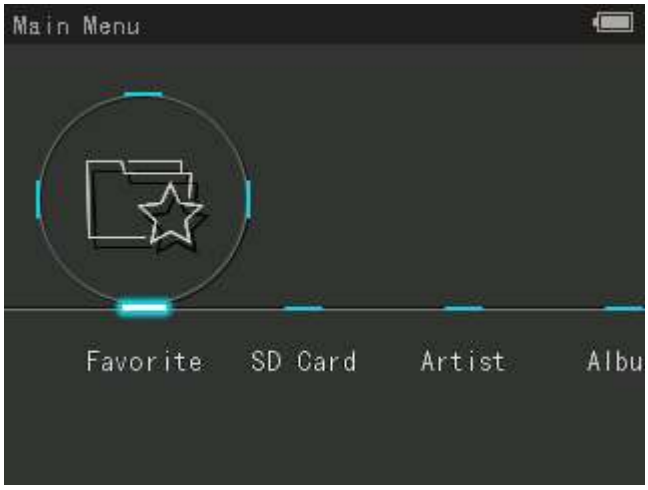
HM-901/HM-802の電源が投入されると起動時にＳＤカードのデータが自動的に読み込まれ、追加ファイルがあった場合はHM-901/HM-802のデータベースが更新されます。

※　カードの読み込み速度が遅いか記録したファイルが大きい場合以外はこの画面が表示されませんが故障ではありません。（ほとんど表示されないとご理解ください）

.



データベースの更新が完了したら下図のメニュー画面が表示されます。



SD Card（ＳＤカードのデータの表示）

メインメニュー画面上でホイールを回転させるとアイコンがフォルダー間を移動します。
ＳＤカードのアイコンが大きく表示されたらOKボタン(実行＝Enter)ボタンを押してフォルダの中身を表示させます。
フォルダの階層の深い場所に音楽ファイルがあるときは選択→実行を繰り返して目的のフォルダを表示させます。

Artist, Album and Genre（演奏家、アルバム、ジャンル表示）

再生が開始されたときにその音楽ファイルの演奏家、アルバム名、ジャンルがHM-901/HM-802内のそれぞれのフォルダに登録されます。
※　wavファイルはこの機能をサポートしていないファイル形式ですので表示されません。.

All Songs（全曲表示）

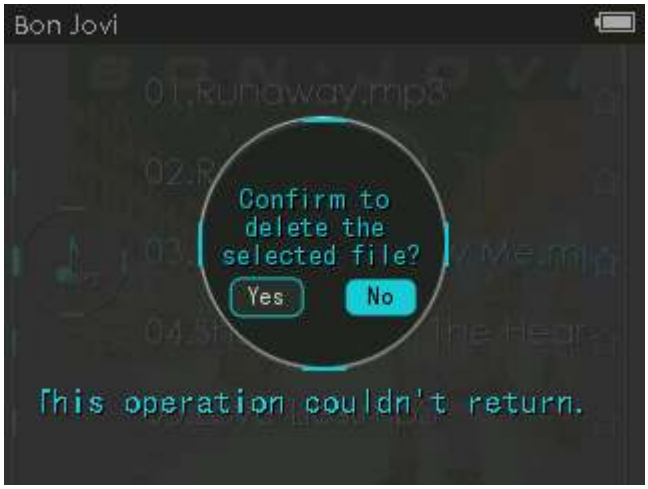
登録された全曲をフォルダを飛び越えて閲覧し、選択（再生）することができます。

Favorite（お気に入りへの登録）

全曲表示画面で音楽ファイルの表示の右側の星のマークが反転している曲が「お気に入り」に登録された曲です。
図の♪マークが付いているときに数秒間 OK(実行＝Enter)ボタンを押すと曲の右側の☆は★に変化し、その曲は「お気に入り」に登録されます。

Delete a file（曲の消去）※ 現在この機能はご利用いただけません。

プレイリストを表示中に削除したい曲をホイールの回転で選択し、バック（前曲）ボタンを数秒押し続けると図のような画面が表示されます。
ホイールでYesを反転させOK(実行＝Enter)ボタンを押すとその曲はSDカード上から削除されます。.
※　後日実施されるファームウェアの更新後にこの機能が有効になります。



Playing menu（再生メニュー）

HM-901/HM-802が再生中かメインメニューからプレーメニューに移動したときにプレイーメニューが表示されます。
演奏するモードを選択し、プレイメニューに加える曲を選択し、３秒間OK（実行＝Enter）ボタンを押してプレイメニューに追加してください。
削除する場合は登録された曲を選択し３秒間OK（実行＝Enter）ボタンを押します。.

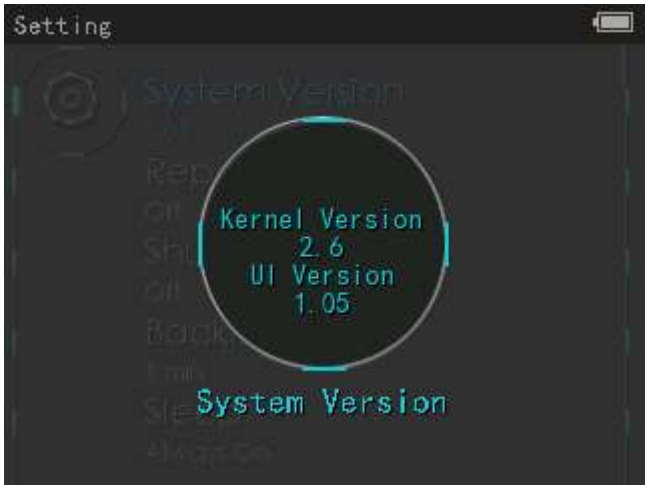
アルバム画像（アートワーク）はSDカードのルートから選曲したときに表示されます。
ただし、画像ファイル名に特殊文字（’など）が使用されている場合は表示されません。

Setting（機能設定）

ホイールを使用して Setting 画面を選択し、OK(選択＝Enter)ボタンを押して
セッティングモードに入ります。

System Version（システムのバージョン表示）

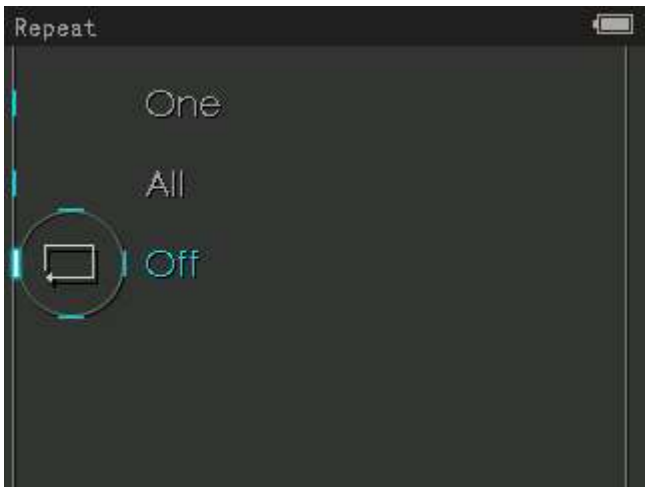
バージョン表示を選択してOK（実行＝Enter）ボタンを押すとHM-901/HM-8021のファームウェアのバージョンを表示することができます。
ファームウェアのアップデートについてはウェブ上で随時ご案内させていただいております。



Repeat（リピート＝繰り返し再生）

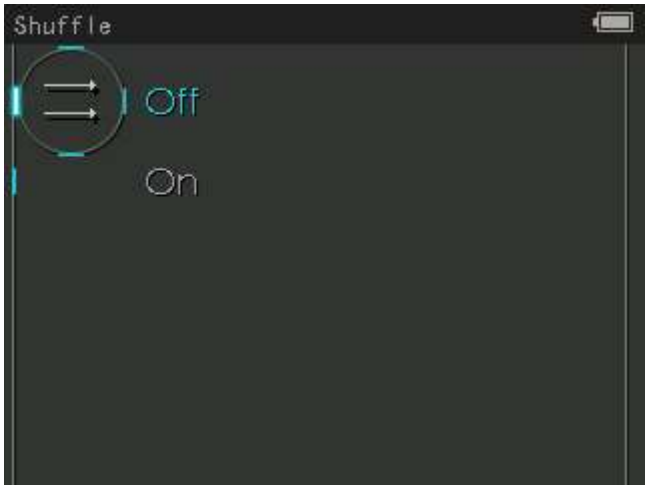
メインメニュ-→セッティング→リピートに移動すると下図のようなリピート条件の選択画面が表示されます。.

1曲繰り返し再生、全曲繰り返し再生、リピートなしのどれかをホイールで選択しOK（実行Enter）ボタンで実行します。



Shuffle(シャッフル再生)

セッティング画面上でシャッフルを選択しOK(実行＝Enter)し、次の画面でOnを実行するとシャッフル再生（再生する順番をHM-901/HM-802が選ぶモードです）ができます。



Backlight（バックライト）

設定画面でバックライト設定を選択し、実行すると下図の画面に移動します。
”

.

Always On　常時点灯します・
10s　　10秒間点灯し、その後消灯します。
30s　　30秒間点灯し、その後消灯します。
1min　　１分間点灯し、その後消灯します。
2min　　２分間点灯し、その後消灯します。

バックライトの設定はバッテリーの消費量に大きな影響を与えます。
長時間の動作を望むならバックライトの点灯時間を短めに設定してください。

Sleep（スリープ設定）

スリープを選択すると自動的に電源を切る設定ができます。

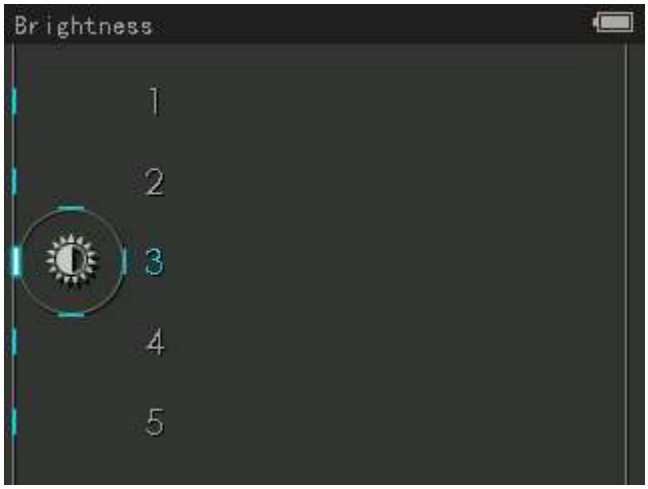
Always On　スリープ機能を使いません。
10s　　５分後に電源が切れます。
　　１０分後に電源が切れます。
1min　　３０分後に電源が切れます。
2min　　１時間後に電源が切れます。

※　スリープ機能を使いながら充電した場合は充電が行われずバッテリーは減る一方となりますのでご注意ください。

Brightness（画面の明るさ設定）

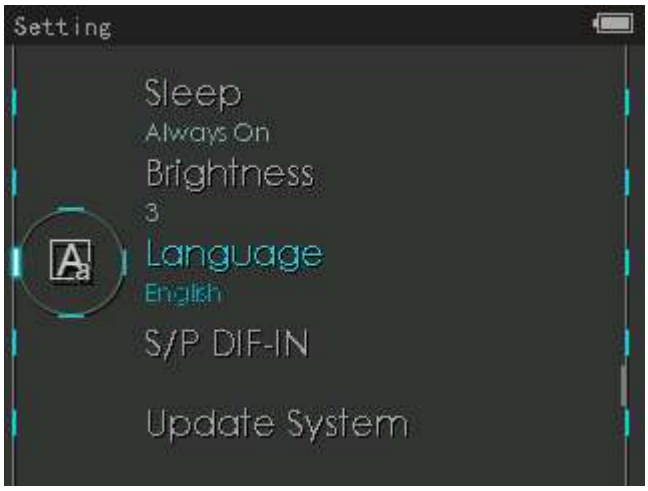
カーソルをブライトネス設定に合わせ実行します。.

画面の明るさを1（最も暗い）から5（最も明るい）まで
選択できます。
画の明るさはバッテリーでの作動時間に大きな影響があります。
長時間動作を希望する場合は画面を暗めに設定してください。



Language（表示言語設定）

設定画面で “Language” を選択、実行します。.



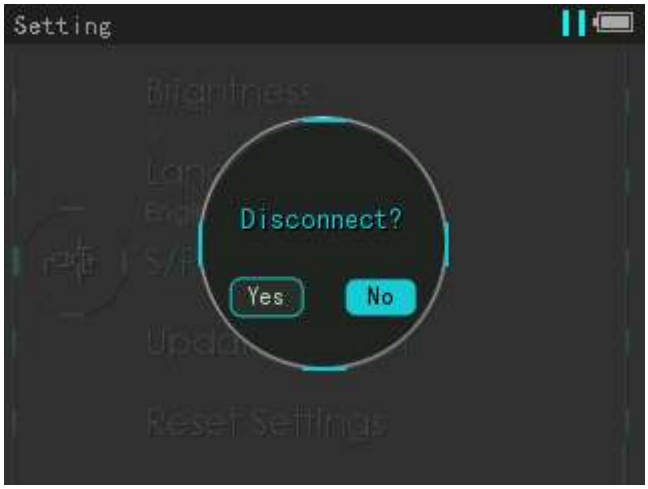
下図に表示される言語での表示が可能です。
希望の言語を選択、実行してください。

S/P DIF（デジタル入力）

設定画面で S/P DIF.IN を選択、実行すると HM-901 は外部からの S/P DIF 信号を受けることができます。（外部機器との接続には専用デジタル入力ケーブルが必要です）

正しくデジタル信号が認識された場合は下図の表示が出ます。

S/P DIF デジタル入力ケーブルが取り外されたときは下図の表示がでます。

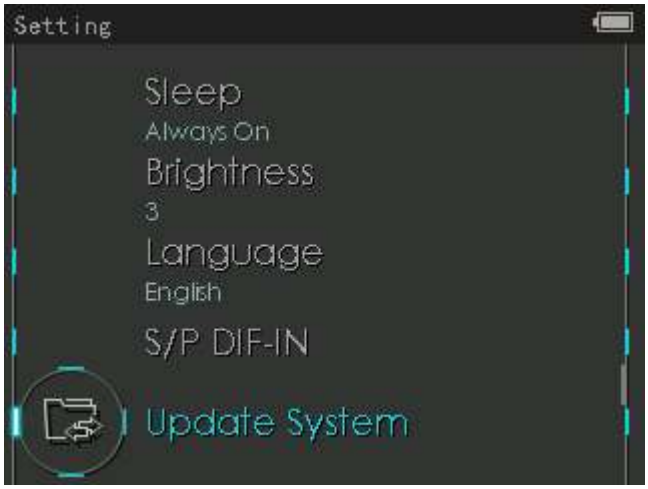


Noを選択することで設定画面に戻ることができます。

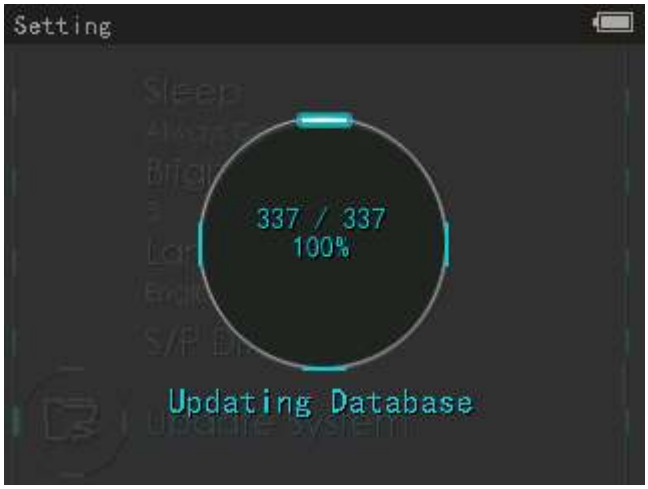
HM-901/HM-802は外部からのS/P DIF信号を受ける設定にすると単体でDAC+ヘッドホンアンプとして使用することができます。
本機はDigital in / out Cable（初期モデルにみ付属、別売品）を使用したときにのみ外部DACにSPDIF信号を出力します。
現在は一部のサンプリング周波数の出力に未対応です。(ファームウェアで改善予定です)
本機はUSB端子からデジタル信号を受けるUSB DACとしての機能はありません。

Updating media database（メディアデータベースの更新）

このモードを選択、実行すると装着されているSDカードの最新情報を読み込み、HM-901/HM-802のデータベースを最新の状態に更新します。.



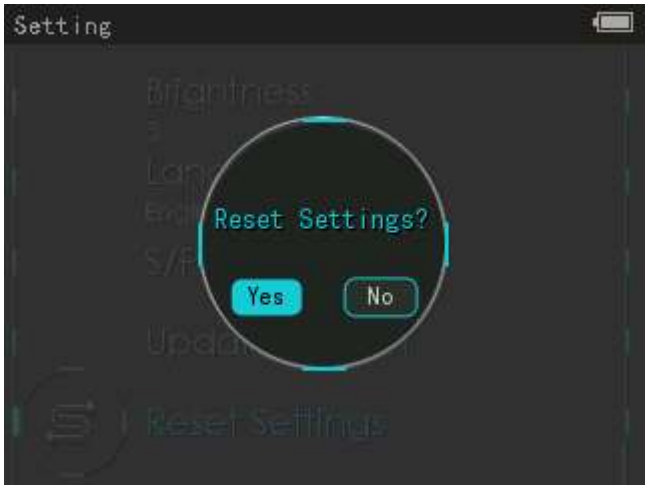
データベースの更新中の画面です。
画面中の337/337の左が認識したファイル数で右がSDカード中の全ファイル数です。
100%は更新の進捗状態です。（つまり、この画面は完了時の表示となります）



※ 更新データがない、あるいは少ない場合はこの画面が表示されませんが正常な動作です。

Reset Settings（設定のリセット）

選択、実行すると工場出荷時の状態に戻すことができます。.



注意： 工場出荷時の状態(デフォルト)に戻すと使用中の設定データはすべて消去されます。

3 Other information （その他のご案内）

Product Safety（動作の保証）

HM-901/HM-802 の保証については別途輸入元が添付する保証書に記載されている規定に従い遅滞なく行われます。
軽修理は日本国内で、重篤な故障の場合は HiFiMAN の中国本社にて修理が実施されます。
ご使用になる環境については常識的な温度.(-6℃~40℃).範囲、湿度であること、衝撃、落下、水没などが発生していないことが無償保証の条件となります。
また、不当な改造、認定業者以外で修理をされた場合はその後の保証が無効になります。

★★　保証書　★★

保証期間　：　ご購入日より６ヶ月間の無償修理保証（日本国内での使用に限ります）

製品型番　：　**HiFiMAN HM-901**（純正 **ampcard**、バッテリーを含む）

製造番号　：　本体内部にシールで表示（本体を分解すると無償保証が無効になります）

ご氏名　　：

ご住所　　：　〒

お電話　　：　（ご自宅）　　（携帯）

販売店記入欄

ご購入日　（必ず販売店様にて記載ください）

年　　月　　日

（店印）

本保証書に無記入または紛失の場合はご購入時の納品書、領収書などご購入日を証明できるもので代用できます

保証規定

＊　この保証書は取扱説明書の記載内容に基づく正常な使用において製造上の理由による故障が発生した場合に無償修理をお約束するものです。
＊　お客様の使用上の不注意、改造、不当な修理、天災地変による故障や損傷は保証対象外となります。
＊　メモリーカードとの相性による不具合は保証対象外となります。
＊　同一モデルに発生したファームウェアのバグなどの不具合は保証対象外となります。
＊　お客様に記載いただきました本保証書のお客様情報はアフターサービス活動のため以外の用途には利用いたしません。
＊　輸入元：有限会社トップウイングの情報は **www.twctokyo.co.jp** でご覧いただけます。